



富山県

モモ中生品種「陽夏妃(ようかひ)」の特性

富山県農林水産総合技術センター 園芸研究所 果樹研究センター

R元年度

1. 背景とねらい

富山県のモモ生産は、生産者の庭先販売が中心であり、7月下旬から8月下旬までのリレー販売が可能な品種構成が重要です。このため、複数の品種を収穫期の切れ目なく取り揃える必要があります。生産者からは、果実品質が安定しており、かつ最も需要が高い旧盆前に成熟する食味良好な品種が求められています。

モモ「陽夏妃」は福島県伊達市で「いけだ」の自然交雑実生として育成され、株式会社天香園によって2009年2月26日に登録された品種です。「陽夏妃」は食味の良さから注目されており、8月上旬の収穫が期待できることから、本県における果実品質・生育特性を明らかにしました。

2. 成果の内容

「陽夏妃」の特性

- ・開花期は、始期が4月8日、盛期は4月11日で、「あかつき」と同時期です(表)。花粉を有し自家結実性があるため、人工受粉の必要はありません。
- ・収穫期は8月5日～8月10日頃、盛期は8月8日で、旧盆前需要期に合致します(表、図1)。
- ・果形はやや扁円ですが、核割れは発生しません(表、図2)。着色は「なつっこ」と同等で、白色一重袋を用いた有袋栽培でも濃赤色に着色し、着色良好です。
- ・果実重は356gで「よしひめ」と同等です(表)。糖度は14.0Brix%程度で「よしひめ」よりも高く、果肉は硬めですが、果汁が多く、香りは強く感じます。

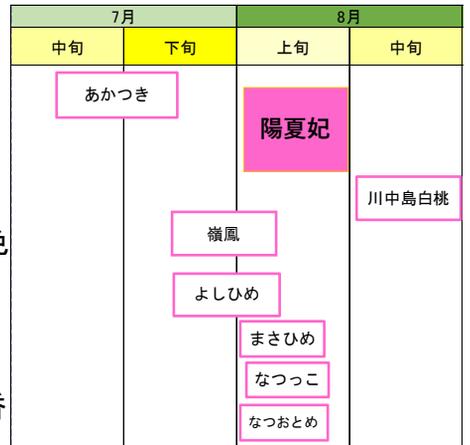


図1 「陽夏妃」と本県推奨品種の収穫期(イメージ)

表 生育および果実品質(2017～2019年の平均値)

品種名(樹齢)	開花期		収穫期			成熟日数(日)	果重(g)	着色面積(%)	硬度(kg)	糖度(Brix%)	酸度(pH)	核割れ(%)	みつ症	
	始期	盛期	始期	盛期	終期								程度	発生(%)
陽夏妃(7)	4/8	4/11	8/5	8/8	8/10	118	356	78	2.3	14.0	5.00	0	0.4	23
あかつき(18)	4/7	4/10	7/23	7/25	7/28	106	337	63	1.9	14.4	4.61	21	0.3	17
よしひめ(19)	4/8	4/10	7/29	7/31	8/2	111	353	61	2.0	12.7	4.36	3	0.2	11
まさひめ(15)	4/9	4/12	8/1	8/4	8/8	114	340	46	2.2	14.4	4.45	18	0.1	5
なつっこ(19)	4/8	4/10	8/4	8/5	8/7	117	369	79	2.3	14.2	4.98	0	0.1	3
なつおとめ(19)	4/8	4/11	8/5	8/7	8/8	118	385	58	2.3	15.4	4.66	12	0.5	27
川中島白桃(10)	4/11	4/14	8/14	8/17	8/19	124	378	59	2.0	14.7	4.62	0	0.6	52

*みつ症程度:無(0)、軽(1:果肉繊維周辺に水浸状のみつ症状が見られる)、中(3:果肉の1割程度にみつ症状が見られる)、甚(5:果肉の3割以上にみつ症状が見られ褐変する)で評価し、「(0×無の個数+1×軽の個数+3×中の個数+5×甚の個数)/調査果数」を値で示す。



図2 「陽夏妃」の外観

3. 成果の活用・留意点

収穫時期が旧盆前需要期の8月上旬で「川中島白桃」につなぐ品種として期待できます。果形はやや扁円で、双胚果等による核割れが疑われる果形をしていますが、核割れではなく、品種特性によるものです。